

報告事項カ

第2回とっとり弥生の王国シンポジウム「倭人のデザイン」の開催について

平成30年2月25日（日）に、第2回とっとり弥生の王国シンポジウム「倭人のデザイン」を開催しますので、別紙のとおり報告します。

平成30年1月25日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## 第2回とっとり弥生の王国シンポジウム「倭人のデザイン」の開催について

平成30年1月25日  
文化財課

### 1 開催趣旨

鳥取県には弥生時代の歴史を考える上でとても重要な遺跡がたくさんあり、なかでも鳥取市青谷町にある「青谷上寺地遺跡」、米子市と西伯郡大山町にまたがる「妻木晩田遺跡」は、弥生時代を代表する遺跡として、国の史跡に指定されている。そこで、この2つの遺跡を貴重な歴史文化遺産として活用し、「とっとり弥生の王国」として新たな価値を創造、発信するために、弥生時代の歴史や文化を学び、史跡の楽しみ方を追求する「とっとり弥生の王国シンポジウム」を開催する。

2 開催日時 平成30年2月25日(日) 午後1時から午後4時40分(開場・受付は正午から)

3 会場 米子コンベンションセンター BIGSHIP 小ホール(米子市末広町294)

### 4 テーマ「倭人のデザイン」

鳥取県の弥生時代遺跡で出土した遺物、遺構の様々なデザインをもとに、そこに込められた美意識や思想、そして倭人が暮らした社会を探るとともに、素朴ながらも機能的で優れたデザインをもつ作品群を通じて、二千年前の名もなきクリエイターたちの才能や魅力を引き出したい。

### 5 日程

午後1時	開会
午後1時5分～2時15分	基調講演「美の人類史からみた弥生時代」 松木武彦 氏(国立歴史民俗博物館教授)
午後2時15分～3時	考古ギャラリートーク「デザインから探る弥生社会」 高尾浩司(鳥取県立むきばんだ史跡公園係長)
午後3時～3時10分	休憩
午後3時10分～4時40分	パネルディスカッション「倭人のデザイン」 コーディネーター 松木武彦 氏 パネリスト 三浦 努 氏(鳥取県立博物館美術振興課主幹学芸員) 中島佳代子 氏(山陰 sacca コーディネーター) 高尾浩司

6 定員 300名

7 参加料 無料

8 申込方法 下記申込先に、郵便番号、住所、氏名、電話番号、メールアドレス(お持ちの方)を明記の上、ハガキ、ファクシミリまたは電子メールのいずれかで申し込む。

9 申込期間 平成30年1月15日(月)から2月23日(金)まで  
(ハガキで申し込む場合は2月16日の消印まで受付)

10 申込・問合せ 鳥取県立むきばんだ史跡公園 シンポジウム担当  
〒689-3324 鳥取県西伯郡大山町妻木1115-4  
電話 0859-37-4000 ファクシミリ 0859-37-4001  
電子メール mukibanda@pref.tottori.lg.jp



